

広報

ひまわり

特集
60th

温故知新

「古きをひも解き、未来図を描く」

2011

12

No.679

平成23年12月1日発行

温故知新
古きをひも解き 未来図を描く



昭和28年1月1日撮影 米の山展望所より北西(富高-細島方面)を望む



平成23年11月16日撮影

米の山からの
眺望で振り返る

日向市60年の歩み

「日向市」は、昭和26年4月1日に、富島町と岩脇村が合併し、宮崎県内で6番目の市として誕生しました。その日の新聞は「港と後背地を持つ強み。未来の商工都市へ期待」と報じています。当時の人口は3万1553人、市の面積は99㎢となり、日田代官所の富高陣屋跡にあった旧富島町役場に「日向市役所」の標札が立ちました。

上段の写真は、市制施行から2年後の、昭和28年元旦に撮影されたもので、米の山の頂上付近から北西方向を見下ろしています。写真右側には、上のほうから竹島、細島商業港、細島市街地と続き、中央部は現在では曾根町、江良町へと続く住宅地ですが、この当時はほとんど建物が建っていないようです。

こうして見ると、右下に見える細島地区の当時の繁栄ぶりが伝わってきます。

また、写真左側の上部には、あやべ迎洋園が見えます。その右側は、亀崎、大王谷と続くのですが、建物はまだまだばらです。

下段の写真は、先月の中旬に、米の山展望所からほぼ同じ場所に立ち撮影したものです。2枚の写真を見比べてみると、60年の変化がどれほど大きなものか見てとれます。

市制施行から60年の主な出来事がかいつまんで振り返ってみると、昭和27年には、細島臨海工業地帯造成事業に着手し、宮崎県唯一の工業地帯づくりがはじまりました。

昭和30年1月1日、児湯郡美々津町と合併し、人口は3万7710人、面積は117㎢の東西20km、南北17kmにも及ぶ歴史的な観光資源を併せ持つ都市となりました。

昭和39年1月、日向・延岡地区が新産業都市に指定。また前年に全焼した市役所の新庁舎が完成するなど、躍進に向けて新たなスタートを切った年です。

昭和46年3月には、細島と川崎をおよそ26時間で結ぶ日本カーフェリーが就航。同6月からは宮崎カーフェリーが神戸、大阪間にも就航するなど、九州の経済、観光の海の玄関口として全国の注目を集めました。

写真で振り返る日向市60年のあゆみを掲載した、日向市民生活べんり帳2011改訂版を全戸にお届けします。



さまざまな行政情報などを、市民の皆さんに提供する日向市民生活べんり帳「2011改訂版」がこのたび完成しました。12月からおよそ1か月間をかけて、共同発行者が市内全戸(事業所含む)に配布します。

なお、地域によって、配布時期が異なります。配布時期などの問い合わせは、共同発行者の藤屋印刷㈱☎52・7171へ。

日向市民生活べんり帳は、各種行政手続きや窓口案内、医療・福祉・子育て情報など、また市内の観光情報など、市民生活に必要な情報を掲載しています。また、日向市制施行60周年を記念して、巻頭から26ページにわたって、写真で振り返る日向市60年のあゆみを掲載していますので、ぜひゆっくりとご覧ください。

●問い合わせ
総務課秘書広報係
(☎内線2235)



昭和28年1月1日撮影 米の山展望所より南西(お倉ヶ浜一塩見方面)を望む



平成23年11月16日撮影

上段の写真も、今からおよそ60年前の昭和28年元旦に、米の山から撮影されたものです。南西方向を見下ろし、左から美々津くお倉ヶ浜く櫛の山く塩見と続いています。

また、写真右側の上部には、冠山(冠ヶ嶽 標高438m)の姿も見えます。右端には、塩見川に沿って東郷方面へ伸びる道(現・国道327号)があり、塩見川に架かる鉄橋の姿が鮮明に写っています。

写真中央の平地には、田畑が広がり、櫛の山や米の山の中腹付近まで耕地として利用されていたのがわかります。財光寺や堀一方には、まだ建造物はあまりありません。

写真左方面の美々津地区では昭和58年、回船問屋を修理した「日向市歴史民俗資料館」が開館。これをきっかけに美々津の町並みの重要性が見直され、61年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

平成6年3月、財光寺と富高日知屋の市街地を結ぶ6本目の橋として「たいえい橋」が開通し、塩見大橋を境にして発生していた南北の国道10号の渋滞緩和が図られました。

平成8年には、お倉ヶ浜が日本の渚100選に選ばれました。その美しい砂浜の姿は、今も昔も変わっていません。

平成18年2月25日には、地理的にも歴史的にも、また人と人とのつながりも関係が深かった日向市と東郷町が合併。人口は6万3454人、面積は336・29㎓になり、美々津から細島へと続く海岸線に象徴される「黒潮文化」と、歌人若山牧水を育んだ豊かな森林資源に象徴される「森林文化」が融合した、新しい日向市がスタートしました。

同年12月には鉄道高架切り替えが完了し、JR日向市駅の新駅舎も開業しました。その後駅舎は、「ブルネル賞」を受賞するなど国際的にも高い評価を受けています。

平成22年8月には、市制施行以来、物流の拠点として大きな期待を寄せた細島港が、全国43の重点港湾の一つに選定、さらに、12月4日には九州自動車道門川―日向IC間13・9kmが開通するなど、高速交通体系の整備が進んできました。

高速道路の開通は単に交通の利便性向上だけでなく、産業・経済の発展や地域間交流の促進、観光振興、防災や救急医療面の向上など、その効果は計り知れません。

細島港を核に海上物流と陸上物流がつながることで、東九州の物流拠点「九州の扇の要」としての期待もますます高まっています。

時代は流れる

いつの時代にも
ターニングポイント
転換期があった



細島港竣工記念八坂地先岸壁(昭和初期)

捕

鯨を生業としていた父。その関係で父は日向の地に移り住んだようです。幼いころの記憶をたどってみると、今の畑浦にある造船所近くには、まだクジラを解体する作業場がありました。

戦時中一時、日向を離れたこともありました。日向を離れずとも細島商業港を見下ろせる畑浦の高台に住んでいます。

私が幼いころの細島は、宮崎県を代表する港町で、町をたくさんの人々が行き交い、とてもにぎわっていました。町には映画館や遊技場もあり、また、国鉄日豊本線の支線として細島線がありました。私も中学時代は、延岡へ汽車に乗って毎日通ったものです。

そのころの港には、常にたくさん船が停泊していました。一日中、



まゆみ 眞弓 辰男 さん(80歳・畑浦)
日向市高齢者クラブ連合会会長として現在2期目。愛犬との朝夕の散歩が日課。子どもの勤めてパソコンの勉強中。妻・伴榮さんと2人暮らし。

さまざまな荷物が積み下ろしされていた活気あふれる港の姿を、今でも鮮明に覚えています。

特に印象に残っているのは、イオンタウン日向の場所にあった日向製錬所に、ニッケル鉱を輸送してくる大きな木造帆船の姿です。

その後、細島工業港の開発や、細島1区から4区までの工業用地も整備されましたが、日本の国そのものが高度経済成長期を過ぎ、また貨物運輸の在り方にも変化が起こるなど、細島港の活用が思うように進まない時代が続いてきました。

そのような中、昨年、細島港が国の重点港湾に選定され、さらに整備が進められることが決まったということを知り、大変よろこばしく思いました。

昔がそうであったように、いつの

時代にも転換期があります。

以前のようにたくさん船が港を行きかき、にぎわうまちの姿をもう一度見れるのではと思っています。今後の進展に大きく期待せずにはいられません。

ところで、細島港の発展と同じように、これからの「日向市」に期待することが一つあります。

高齢化社会の到来が叫ばれて、長い年月が過ぎていますが、高齢者にとって住みやすいまちづくりは、まだまだこれからの大きな課題だと思っています。

これからも日向市制施行70年、80年、そして100年に向けて、安全に安心して暮らせるやさしいまちとして、さらに発展を続けていってほしいものです。

教

職にあった私は、市制施行の昭和26年当時、富島中学校の教壇に立っていました。同じころ主人と結婚。10年前の市制50周年の年には、金婚のお祝いをしていただきました。

今回、改めて日向市60年の歴史を私なりに振り返ってみると、まちの形が大きく変わったのを感じます。その大きな要因の一つは、道路の変遷ではないでしょうか。

東臼杵郡富島町と岩脇村が合併し「日向市」が誕生した当時は、市の中心部・繁華街は現在のJR日向市駅前から塩見橋付近までの県道(今でいう旧道)沿いがありました。

商店街は、現在の本町から中町、南町と続き、七夕祭りや十五夜祭りのときには、それはそれはたくさんの人々にぎわっていたのです。

一方で少しまちを外れると、人が往来するのがやっとというほどの「けもの道」が、まだまだ重要な生活道として利用されていたころです。

その後、高度成長期とともに家用車の所有率も上がり、また国道10号の開通や舗装化・拡張などで、車の通りは新しい道路へ移っていきま

す。車の通りに合わせて、まちは姿を大きく変えていきました。

平成18年に、東郷町と合併し、新しい日向市が誕生しましたが、旧日向市と旧東郷町をつなぐ道路は、以前のまま。私たち高齢者にとってやさしい移動手段の充実、新しい道路の形の必要性を感じています。

容易なことではないでしょうが、少しずつでも改善されると、高齢者の交流ももっと深まるのではないかなと思うのは私だけでしょうか。

みち 路がくらしを変え まちを作ってきた



昨年開通した東九州自動車道門川―日向間。道路脇に見かけたソーラーパネルは、トンネルの照明に使う電力を太陽光発電している」と聞き、時代はさらに動いていると感じました。全線開通までもう一息。日向のまちが大きく発展するきっかけが着実に近づいてきていると思います。

私は、若い世代の皆さんと話すとき、まちのことを誇りに思い、とても愛しているのがわかります。でも愛するまちは、将来にとっておく場所(故郷)にするのではなく、今、大切にしたいです。ぜひ、日向市に住んでこれからのまちづくりに参画してほしいですね。

- 1 原町交差点付近から東(米の山)を撮影(昭和25年頃)。手前は国道10号。
- 2 同上地点から平成23年11月撮影。
- 3 昭和20年代の塩見橋の様子



あきこ 田中 昭子 さん(84歳・原町)
日向市高齢者クラブ連合会副会長として多忙な毎日をご過ごす。元気の源は、気の合う仲間とおしゃべりタイム。夫・政喜さんと2人暮らし。



欠落している広報紙 24号を探しています

以下の号は、残念ながら昭和38年の市庁舎火災で原本を焼失しています。もし、本号を保存されている人がいましたら、ぜひ情報提供をお願いします。

- 昭和38年の市庁舎火災により焼失。その後、収集するも、現時点で欠落している号
 - ・昭和30年9月(1号)～12月(4号)
 - ・昭和31年1月(5号)～8月(12号)
 - ・昭和32年3月(19号)
 - ・昭和33年4月(33号)、8月(37号)、10月(39号)、11月(40号)
 - ・昭和34年1月(42号)、3月(44号)、5月(46号)
 - ・昭和35年9月(65号)
 - ・昭和36年4月(72号)、9月(77号)
- ※火災による焼失に起因する欠号が計23号

上記理由以外の欠号は1号
・昭和42年8月(147号) 計24号が欠号

●情報提供または問い合わせ
総務課秘書広報係 ☎内線2235
✉ public@hyugacity.jp

●利用できる端末
一般的なWebブラウザを搭載したパーソナルコンピュータのほか、タブレット型コンピュータ(スマートフォン対応)

●公開日 平成23年11月18日
●デジタルアーカイブの内容
現存する広報紙のすべて655号をPDFファイル(電子書類)形式に変換し、インターネット上に公開しました。

広報ひゅうが デジタルアーカイブ



発号からの検索、西暦・年号から検索などの年代別検索、市内の出来事のほか、主な国内外の出来事や歴史などからも記事が検索できます。



キーワード検索窓(PDFのしおり・テキスト内検索)から記事検索ができます。

今後、平成18年2月に閉町した旧東郷町で発行していた「町報とうこう(昭和25年5月第1号発行・全658号)」も順次デジタル化し、インターネット上に公開し提供していく予定です。

資料の散逸や劣化を防止 「歴史資料」を後世に引き継ぐ

昭和26年4月の日向市制施行から4年経過した昭和30年9月、「日向市広報」第1号が発行されました。以来、毎月1回の発行を重ね、本号(平成23年12月1日発行)をもって679号を数えます。

市が発行する「広報紙」は、市政に関する記事のほか、その時々のおもしろい出来事やお知らせ、地域の話題などをふんだんに盛り込み、市民にさまざまな情報を提供してきま

した。

現在、永年保存文書として保管されているこれまで発行してきた広報紙は、市の歴史を振り返る記録としてはもちろん、「ふるさと・ひゅうが」の歩みを知り、これからの日向市のあり方を考える上でも、貴重な歴史資料といえるのではないのでしょうか。

市はその価値に着目し、資料の散逸や紙の経年劣化を防止し、後世に引き継ぐために、平成22年度にデジタル化に取り組みました。

今回、さらに日向市制施行60周年を記念する事業の一つとして、デジタル化した「広報ひゅうが」を自由に検索し閲覧できる専用サイトを市ホームページ上に構築、「広報ひゅうがデジタルアーカイブ」サイトとして、インターネット上に公開し、広く市民の皆さんに提供します。

日向市未来宣言

私たちのまちは、美しい海岸線や山々など、すばらしい自然に囲まれ、豊かな自然がもたらす日向ならではの海の幸、山の幸に恵まれています。また、「若山牧水」や美々津の町並みなどに代表されるすばらしい文化・歴史資源など、全国に誇れるものがたくさんあります。

日向市に生まれ育った私たちは、このような日向市の良さを普段あまり感じることなく毎日過ごしてきたような気がします。

こうしたなか、昨年、県内で口蹄疫が発生した際には、畜産農家をはじめたくさんの方が悲しい思いをしました。

さらに、このたびの東日本大震災では、あまりの被害の大きさに言葉が失い、今、自分たちに何ができるのかを深く考えさせられました。

私たちが何気なく過ごしてきた日常生活が、あたりまえのことではなく、いろんな人に支えられ、人々の結びつきのなかで成り立っているのだと改めて感じました。

いま、日本中が「がんばろう日本」のかけ声で、震災からの復興に向けて取り組んでいます。私たちも、今できることを真剣に考え、そして実践しながら、一歩ずつ前に進んでいかなければなりません。

今年、日向市が誕生して60年という記念すべき年です。

これまでの日向市の基礎を築いてくださったたくさんの方、また私たちが育んできた、海、山、川といった豊かな自然に感謝をして、新しい気持ちで、次の50年、100年に向かって行きましょう。

最近の日向市は、新しくなったJR日向市駅を中心とするまちなかが整備され、きれいで活気あふれるまちとなり、また高速道路も開通するなど、新しい日向市として生まれ変わっています。

これからもずっと、日向市の持つよい所が将来にわたって引き継がれ、そして飛躍・発展し、誰もが笑顔で暮らせるまちとなるよう、日向市の成長を願うとともに、このまちに住む私たちも、日向市の明るい将来に向け、一丸となって未来を切り開いていきましょう。

市制施行60周年記念式典で読み上げられた宣言文の内容を一部改編しました。

特集・終



TOPICS

民謡民舞全国大会で優勝

国内の民謡愛好家らが集う民謡民舞全国大会(高年二部)でこのたび、菊池芳盛さん(76歳・迎洋園=左から2番目)が優勝。日本民謡協会日向支部のメンバーと11月3日、市長室を訪ねました。全国大会に向けて、自宅近くの広場で繰り返し発声練習をしてきたという菊池さん。「仲間の応援もあって一番いい状態で歌えたのがよかった。民謡は私の生きがいです」と話していました。



伸びのある歌声 日向木挽唄で日本一

2011年秋季キャンプ

今年も日向に韓国プロ野球球団が秋季キャンプ入りしました。2006年から継続している起亜タイガースはお倉ヶ浜野球場で11月3日から29日の間、また今回初めて来市したネクセン・ヒーローズは大王谷野球場で10月31日から11月29日の間、キャンプイン。来季の優勝に向けて、基礎トレーニングや練習に汗を流していました。期間中は2球団による練習試合も組まれました。



韓国プロ野球2チームを歓迎

道幅拡幅、ゆとりの公園整備

細島東部地区の住環境整備事業が完了。竣工式は10月23日に開かれ、およそ70人が参加し完了を祝いました。式では、市民から公募していた地区内2か所に新しくできた公園の名称を発表。1号公園は坂田榮さん(75歳・細島)の「海鳴り公園」、2号公園は児玉静江さん(85歳・細島)の「ながれ川公園」にそれぞれ決定しました。地域交流や防災などさまざまな有効活用が期待されます。



二十年の歳月をかけた事業がついに完了

田の原から美々津の旅

美々津地区で11月12日あった「ひゅうが奥ひゅうが」旅博覧会」たのはののパワースポットと美々津を歩く旅。市内外から参加した15人が、地元の花巻紀代さん(64歳)、安藤るみ子さん(60歳)姉妹の案内で、石神山にある巨石群を巡ったり、さわし柿作りなどを体験したりしました。午後は、美々津伝統的建造物群保存地区内をゆっくりと散策。地域の人たちと交流を深めました。



ゆったり過ごす 新しい旅のカタチ

子どもがどんぐりゴロゴロ

このたび市立図書館のリニューアル工事が完了し、新しくキッズコーナーを設置しました。11月12日にあった秋のとしょかんまつりで募集していたコーナーの名称を発表。黒木南さん(日知屋東小6年)が考えた「どんぐり広場」に決まりました。命名理由は「どんぐりが集まった姿が、子どもたちのように見えたから」。柔らかな床の自由な空間で子どもたちが絵本を読んでいます。



市立図書館にキッズコーナーを新設

牧水の里秋祭りにぎわう

秋の恒例イベント牧水の里秋祭りが11月6日、道の駅とうごうで開かれました。広場では、旬のあゆの塩焼きや、かざらで作ったかごなどの林産加工品、また地元でとれた新鮮な農産物などがテントに並び、たくさんの人が足をとめ買い求めています。ステージでは、ダンスなどの発表や日ごろの生涯学習の成果の披露などもあり、たくさんの家族連れでにぎわっていました。



今年も豊作 自然の恵みに感謝



黒木健二市長は、「豊かな自然と恵まれた環境のなか、都市基盤の整備とともに産業経済の発展、社会福祉の充実、教育文化の振興などに積極的に取り組みながら、調和の取れた均衡ある市政の発展に努めてきました。これもひとえに市制施行当初から発展に尽力を賜った歴代市長、議長・議員、先人、各位のたゆまぬ努力と、国・県の関係機関の協力のたまもの。心から敬意と感謝を申し上げます」と式辞を述べました。

市制施行60周年記念式典
市文化交流センターで11月5日、市制施行60周年記念式典が開かれ、およそ850人が出席し市制施行60周年を祝いました。



その後、自治功労者表彰123人、一般功労者表彰59人・19団体、特別功労者表彰3人・23団体を表彰し、滋賀県彦根市の日本料理店「魚忠」の若女将・大橋田香子さん(34歳)と、タレントの萩本欽一さん(70歳)を特別表彰。萩本さんが、絶妙なお笑いトークで会場を沸かせ、お祝いムードを盛り上げてくれました。
最後に、大王谷学園8年の小山葵さんと黒田平さんが日向市未来宣言を読み上げ、来場者みんなでさらなる日向市の飛躍・発展を誓いました。



オープニングでは、友好都市中国濰坊市から招いた濰坊学院生徒8人が中国の民族舞踊を披露し、会場は幻想的な雰囲気になりました。
式の初めに、今年4月1日に制定した新しい市憲章と市の花・ひまわり、市の木・山桜ともくせい、市の花木・つつじを紹介。富高小学校6年の大野倫さんと阿部悠生さんが市憲章を朗読しました。

諸塚村 天空の森 お休み処「えくぼ亭」



諸塚村の標高800m付近にある天空の森池の窪グリーンパーク。諸塚の木をふんだんに使った本格ログハウスやアスレチック場、バッテリーゴルフ場、クロスカントリーコースなど多様な施設が整備された緑地公園です。その公園内に今年5月、新たなお休み処「えくぼ亭」がオープンしました。
地元のかあちゃん手づくりのうどんやカレーなどの軽食、団子やケーキ、コーヒーなど多くのやさしい味が楽しめます。
寒さがきびしくなるこれからの時期、ご家族やご友人と一緒に、心まであたたまる天空の森お休み処へぜひお越しください。
お休み処「えくぼ亭」 土・日、祝日のみ営業。午前11時から午後4時まで。食事は午後2時30分まで。
一般社団法人諸塚村観光協会
☎0982・65・0178

歩道における、車の乗入口改善工事のお願いです

乗入板は危険です。歩道の切下げ工事を



▼車の出入り口へは、乗入れ板などを置かないで、歩道の切り下げ工事をしましょう。



市内の道路では、歩道部分が車道から一段高くなっている道路などで、車庫や宅地への車の乗入口に鉄製などの乗入板を設置しているところが多く見受けられます。
これは、道路交通上の障害となるばかりか、歩行者、自転車、バイクなどの事故の原因になる恐れがあります。置いてはいけないことになっていきます。万が一、設置している乗入板などで事故が発生した場合、設置した人の責任が問われかねません。また道路の側溝の上にブロックなどを置いたり、排水桝などをふさい



だりすると、雨水が流れ込みにくくなります。そのため路面の排水が悪くなり、冠水の原因ともなりかねません。乗入板などを設置している人は速やかに撤去し、「歩道の切下げ」など、乗入口の改善工事を行なってください。

なお、この工事は、道路管理者に申請をして、承認を得て行うこととなっておりますので、申請や工事の詳細については、次の道路管理者にお問い合わせください。

「安全・安心で人にやさしい道づくり」を推進するために、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

●国道・県道については、日向土木事務所用地課管理担当(☎52・4172)、市道については、建設課道路管理係(☎内線2721)

手当で支給金額と支給要件を変更。申請はお早目に

10月分からの「子ども手当」が変わりました

子ども手当の制度が新しくなり、平成23年10月分から平成24年3月分までの子ども手当の支給額と支給要件が次のとおり変更されました。

これまで支給していた人のうち支給要件に該当する人には、11月上旬に案内を送付していますので、内容を確認して、早めに申請を済ませてください。

また、今回の制度変更で新たに支給要件に該当する人には、案内を送

●支給金額(所得制限なし)

支給区分	支給月額
0歳から3歳未満(一律)	15,000円
3歳から小学校修了前の第1子・第2子	10,000円
3歳から小学校修了前の第3子以降	15,000円
中学生(一律)	10,000円

●支給日

平成23年10月～平成24年1月分	平成24年2月10日(金)※
平成24年2月～3月分	平成24年6月8日(金)

※認定請求手続の完了日によって支給日は異なります。

付しますので、子ども課まで連絡してください。なお、公務員の人は、勤務先で手続きをしてください。

●支給対象者

平成23年10月1日以降、中学校修了前(15歳到達後最初の3月31日まで)の子どもを養育している保護者
●新たな支給要件
・国内に住む子どもが支給対象となります(留学などを除く)。
・児童養護施設に入所している子どもなどについては、施設設置者などに手当が支給されます。

・未成年後見人や父母指定者(父母などが国外にいる場合)に対しても、手当が支給されます。
・離婚協議中で父母が別居している場合は、子どもと同居している人に支給されます(単身赴任の場合を除く)。

●申請期限

平成24年3月30日(金)まで。郵送による場合は3月31日(土)必着。
※平成23年10月1日現在、支給要件に該当する人で、期限までに申請した場合は、平成23年10月分から手当を支給します。

☎子ども課支援係(☎内線2163)

海外大型観光客船「コスタ・ヴィクトリア」号が細島港へ

「中・英・韓」通訳ボランティアを募集

日向市文化賞に花柳絹太さん、和田勝典さん

市の文化発展に尽力。今後の活躍を祈って

来年5月から10月にかけて、海外からの大型観光客船が細島港に入港することが予定されています。

今回、入港予定の客船は、「コスタ・ヴィクトリア」で、平成22年に入港した「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」よりも、さらにひとまわり大きな客船です。

今回は8回の入港が予定されていて、中国やアジア各国、欧米などから、毎回1500人を超える観光客が乗船して来るようになってます。

市は、市内の観光地巡りやショッピング、また日本文化に触れる機会などを楽しみにしている海外からの観光客の皆さんを、心からもてなしサポートするために、次のとおり通訳ボランティアを募集します。

●通訳を必要とする言語
中国語、英語、韓国語

●主な業務内容

- ① オプショナルツアーに参加する観光客の通訳
 - ② 船外運営に必要な、さまざまな調整事項などの通訳
 - ③ 市内観光に関する情報の通訳など
- ※通訳などの経験は問いません。たくさんの方の皆さんの応募をお待ち

日向市の文化の向上の発展に、特に功績が顕著な人に対して、市は日向市文化賞を授与しています。

今年の受賞者は、花柳絹太さん(66歳・富高)、和田勝典さん(77歳・財光寺)の2人。いずれも芸術部門の受賞です。

花柳絹太(本名「吉田美智代」)さんは、日向市舞踊連盟の中核を担い、長年、本市の日舞界を支えてきました。活動の場は市内だけにとどまらず、市外県外でも活躍し、本市芸術文化の振興発展に尽力しました。

また師範として、後進の育成指導にも力を注ぎ、薫陶を受けた名取は40人、師範は8人に上り、千人にも及ぶ教え子が全国で活躍されています。現在、市文化連盟副会長として、文化連盟全体の指導にも取り組んでいて、本市文化の発展に寄与しています。

和田勝典さんは、長年にわたって日向はまぐり碁石まつりの実行委員を務め、囲碁文化の向上とはまぐり碁石の普及に取り組んできました。今や日向のはまぐり碁石は全国ブランドとして確立され、はまぐり碁石まつりも日本一のアマチュア囲碁大



▲写真＝花柳絹太さん(前列・左)、和田勝典さん(前列・右)。

日向の囲碁界だけでなく、県内の囲碁界においても第一人者で、打ち手として、指導者として、長く本市の囲碁文化を支え続けています。

授賞式は11月3日、市役所で開かれ黒木市長が表彰状を授与。花柳さんは「これからも力まず、踊り人生を乗り切っていけたら本望」、和田さんは「今後も囲碁文化の発展のために、微力ながら尽くしていきたい」と今後の決意を述べました。

●観光振興課観光振興係
(☎内線2652)



イタリアのコスタ・クルーズ社が運行する「コスタ・ヴィクトリア」は1996年就航。総トン数は7万5千トンで全長253m、全幅32m。およそ2200人を収容可能で、船内には、映画館やプラネタリウムホール、カジノなどのエンターテインメント施設のほか、プール、ジム、テニスコートなども備えた超豪華客船です。



▲大型観光客船レジェンド・オブ・ザ・シーズの乗客を案内する通訳ボランティア(平成22年3月)

大掃除はお早めに！年末年始のごみカレンダー



年末は、例年各家庭から大量のごみが出されます。市は、次のとおり年末年始の特別収集を実施します。早めの大掃除で早めのごみの排出にご協力をお願いします。

環境整備課業務係 ☎53・2256

年末年始のごみ・し尿収集カレンダー

月日	12月 December 2011										1月 January 2012				
	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	
ごみ	ごみ収集 環境整備課 ☎53・2256	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
	プラスチック製容器包装回収 環境整備課 ☎53・2256	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	
	清掃センター ☎53・3401 持ち込みは、午前8時30分から正午。午後1時から4時まで。	×	×	○	○	○	○	○	○	午前中のみ	×	×	×	○	○
	ひゅうがリサイクルセンター 持ち込みは、午前8時30分から正午。午後1時から4時まで。 ☎55・0055	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
し尿	日向衛生公社 ☎54・5111	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	
	都農衛生公社 ☎0983・25・0149	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	

※12月31日(土)の清掃センターへのごみ持ち込みは、正午までです。1月4日(水)からは通常どおりの業務です。

●受け入れ内容

清掃センター 燃やせるごみ、古紙類

ひゅうがリサイクルセンター 燃やせないごみ・粗大ごみ、資源物「古紙・缶・びん・ペットボトル・プラスチック製容器包装(発泡トレイを含む)・古布類」 ※分別をきちんと持ち込んでください。



市民の皆さんへお願い 年末は両施設ともに、ごみの直接持ち込みが多く、施設内や付近の道路が大変混雑します。大掃除は余裕を持って早めに済ませ、早めのごみ持ち込みをお願いします。

12月3日から9日は「障害者週間」です

毎年12月3日(国際障害者デー)から9日(障害者の日)までの1週間は「障害者週間」です。障がいや障がいのある人への理解を深めてもらい、障がいのある人の社会参加への意欲を高めることを目的としています。障がいのある、ないに関わらず、社会参加をしたいという気持ちはだれでも同じです。障がいのある人もない人も地域で生活をし、社会のあらゆる活動に参加する権利があります。社会を構成する全員が、協力して快適に生活するためには、互いに支えあうことが大切です。お互いに尊重し助け合いながら、共に生きる社会を目指していきましょう。

- また、市内には次のような障がい者関係団体があります。
- 加入・活動内容などについては、それぞれの団体まで気軽に問い合わせてください。
 - 障がい者関係団体などの連絡先
 - ◎ 日向市肢体不自由児者父母の会
会長 佐藤正由 ☎52・8549
 - ◎ NPO法人日向市手をつなぐ育成会
会長 柴田順一 ☎52・0638
 - ◎ 日向聴覚障害者協会
会長 白菊米子 ☎53・3699
 - ◎ 日向視覚障害者福祉会
会長 甲斐ひろみ ☎52・1778
 - ◎ 日向市肢体障害者「友愛会」
会長 三宅美佐子 ☎54・2756
 - ◎ 精神障害者家族会
会長 壹岐正一 ☎52・3496
 - ◎ 日本オストミー協会宮崎県支部
県北ブロック長 山田芳範 ☎54・9410
 - ◎ 心臓病の子供を守る会
代表 首藤正一 ☎53・1459
 - ◎ 日向腎友会
代表 水流幸夫 ☎52・3695
 - ◎ 福祉課障がい福祉係
(☎内線2171)



Welcome!



ほじょ犬
(身体障害者補助犬)のことをもって
知ってほしいワン

補助犬とは、目や耳や手足に障がいのある人の生活をお手伝いする、「盲導犬」・「聴導犬」・「介助犬」のことです。

障がいのある人のパートナーで、ペットではありません。「身体障害者補助犬法」に基づいて認定された犬で、特別な訓練を受けています。きちんとしつけられていて、社会のマナーも守れるし衛生的です。公共施設や交通機関をはじめ、飲食店やスーパー、ホテルなどのいろいろな場所に同伴できます。

補助犬は、からだに障がいのある人の自立と社会参加に欠かせません。補助犬のことをもっと知って、補助犬ユーザーと補助犬を社会の仲間として受け入れてください。

補助犬の同伴については、「身体障害者補助犬法」で、人が立ち入ることのできるさまざまな場所で受け入れるよう義務づけられています。

聴導犬(ちょうどうけん)

音が聞こえない、聞こえにくい人に、生活の中の必要な音を知らせます。玄関のチャイム音・ファクシミリ着信音・赤ちゃんの泣き声などを聞き分けて教えてくれます。「聴導犬」と書かれた表示をつけています。



介助犬(かいじょけん)

手や足に障がいのある人の日常生活動作をサポートします。物を拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、着脱衣の介助などを行ないます。「介助犬」と書かれた表示をつけています。



盲導犬(もうどうけん)

目の見えない人、見えにくい人が街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角を教えたりします。ハーネス(胴輪)をつけています。





としゆき まこ
利行 真心 ちゃん
3さい(曾根町)
3歳のお誕生日おめでとう★まこの可愛いえくぼが大好き!



かいら
濱田 海碧 ちゃん
2さい(曾根町)
元気にやさしく、大きくなーれ!



かわち ゆりか
河内 優梨花 ちゃん
1さい(亀崎)
1歳のお誕生日おめでとう! 優梨花の笑顔は元気の源です☆



ひびき
川越 響 ちゃん
3さい(鶴野内)
仮面ライダーが大好きなひーくん。兄弟なかよく大きくなってね!



だいすけ
前田 大輔 ちゃん
2さい(中堀町)
オレ2歳! 将来の夢はプロ野球選手



携帯電話で撮影した写真を、左のQRコードでらくらく送信。誕生日の記念に、お子さんのかわいい写真を投稿してみませんか?
●掲載対象=毎月1・2・3歳の誕生日を迎えた乳幼児。●投稿方法=Eメール(携帯含む)。子どもの氏名(ふりがな)・住所・年齢・保護者の連絡先、および30文字程度のコメントを記載して、デジタルカメラや携帯電話などで撮影した高画質写真を添付して送信してください。
※投稿多数の場合、掲載できない場合もあります。●送信宛先 public@hyugacity.jp ●総務課秘書広報係(内線2235)

早め早めのケアが大事です 乾燥肌から子どもを守ろう!

冬は空気が乾燥するので、子どもの肌のケアで悩む人も多いようです。赤ちゃんや子どもの肌は大人に比べて薄いため、水分を保ちにくく、乾燥肌になりやすいと言われています。

大人よりカサカサ乾燥肌

赤ちゃんは生後2か月までは、お母さんのホルモンを受け継いでいるので、皮脂の分泌が活発で大人並み。しかし、3か月を過ぎると皮脂量が急激に減り、そのまま10歳ごろまでは皮脂の分泌が少ない状態が続きます。

しかも、角質層の厚さは大人の2分の1ほどしかありません。そのため肌の水分が保たれにくく、肌のバリア機能が低下して、乾燥肌になるのです。

水分・油分の補充が大事

子どもの肌を乾燥から守るためには十分な保湿が必要です。また、皮脂の分泌が少ないので油分の補充も欠かせません。

体を洗う時は、大人と同じ石けんでも大丈夫です。肌にトラブルが生じたら低刺激の石けんを使いましょう。

タオルなどでゴシゴシとこすったりせず、やさしく手で撫でるように洗います。



石けんの量が多すぎると皮脂まで洗い流してしまうので、少量を使い、石けんが肌に残らないように十分すすぎましょう。お風呂から上がった後、水分を押さえるようにやさしくふき取ります。そして、乾燥が気になる部分にベビー用の乳液や保湿ローションを塗って保湿しましょう。

長時間の入浴は、肌の水分を蒸発して乾燥肌の原因になるので、長くなりすぎないように気をつけましょう。

冬は空気が乾燥します。さらに暖房などで室内はますます乾燥し、肌の水分が蒸発しやすくなるので、加湿器などを使い適度な湿度を保ちましょう。

早め早めのケアが大事

乾燥肌が進行し、ひび割れなどが起こると、皮膚内に雑菌が入りやすくなります。自己判断で勝手に薬をつけないようにしましょう。気になる症状が出た時は、医師に早めに相談しましょう。

☎こども課支援係(☎内線2196)

乳幼児健診

●3か月児健診は、受診票を持参して、市内医療機関で受診してください。

対象=平成23年9月生まれ

●7か月児健診

対象=平成23年5月生まれ

日時=12月16日(金)

受付=午後0時45分から1時15分まで

●1歳児健康相談

対象=平成22年11月生まれ

日時=12月6日(火)

受付=午前9時30分から10時

●1歳6か月児健診

対象=平成22年5月生まれ

日時=12月8日(木)

受付=午後1時から

1時30分まで

●3歳児健診

対象=平成20年5月生まれ

日時=12月14日(水)

受付=午後1時から

1時30分まで

●会場 市民健康管理センター

※母子健康手帳を忘れず持参を。なお、対象児の保護者には案内を郵送しています。

☎こども課(☎内線2196)

+おもちゃ病院ひゅうが

●日時 12月10日(土)、午後1時から4時まで、日向市総合福祉センター(富高207-3)で。

☎事務局 ☎53・4005(高山)

みやさき医療ナビ
富高地区総合医療情報システム
<http://www.e-navi.pref.miyazaki.lg.jp/>
パソコン・インターネットで、あなたの身近な医療施設や専門医療機関などの緊急時の医療センターなどを探すことができます。

携帯電話からも検索できます!
左のQRコードを携帯電話で読み込んでインターネットにアクセスすると、携帯電話からも検索できます。
<https://www.e-navi.pref.miyazaki.lg.jp/>

富高地区医療情報課 電話:0985-26-7055 FAX:0985-32-4458

ぜひ、お気に入り登録を!
総合医療情報システム

日曜・祝日などの在宅医療
日向市東白杵郡医師会
テレフォンサービス
☎53・1214
☎http://hyuga-ishikai.jp/
※予告なく変更する場合があります。受診前に、必ず各医療機関に電話で確認してください。

Let's support child raising together in our community.

小さな笑顔は未来の力 みんなで育てよう "ひゅうがっ子"

日向市「子育て応援宣言」



▲日知屋児童センターを利用している子育てサークル「つくしんぼ」の皆さん。

▼11月5日にあった「日知屋児童センターまつり」の様子。



☎こども課支援係
(☎内線2164)

日知屋児童センター・大王谷児童館には、専任の職員を配置し、さまざまな育児情報の提供や親子で楽しめる行事を計画し、子育てを支援しています。また、子育てサークル活動などで施設利用もできます。



大王谷児童館
☎50・1117
亀崎東4丁目10



日知屋児童センター
☎52・8443
日知屋1425番地1

●開館日時 月曜から土曜日(祝日は休館)。
●時間 午前9時から午後5時まで。

ブックスタート展開中

本に親しみ、こころすこやかに



ブックスタートとは、1990年にイギリス・バーミンガムで始まった「赤ちゃんの本を通して楽しい時間を分かちあう」とを応援する運動です。7か月児健診のときに、絵本や子育てアドバイス冊子などが入ったブックスタートバッグを配布します。

●市立図書館 ☎54・1919(春原町1-47)
http://www.lib.city.hyuga.miyazaki.jp
●開館日および時間
火曜～金曜日は午前9時～午後6時30分
土、日、祝日は午前9時～午後5時
●12月の休館日(毎週月曜日は休館)
1日 5日 12日 19日 26日 28～31日
12月28日(火)から1月3日(火)の間は休館します。

12月のおはなし会
親子で「絵本の読み聞かせ」
●場所 市立図書館
●乳幼児向け(毎週水曜日)
8日 15日 22日
●幼児向け(毎週水曜日)
午前10時30分から11時まで。
7日 14日 21日
●小学生向け(毎週土曜日)
午後3時30分から4時まで。
3日 10日 24日
午前11時から11時30分まで。

新しく入った本
▼偽りの来歴(レニー・ソールズベリー/白水社) ▼同伴避難(児玉小枝/日本出版社) ▼それいけ!ぼくのなまえ(平田昌広/ポプラ社) ほか

おすすめの本 ~ Recommended Books ~

子どもを放射能汚染から守りぬく方法

放射線に対する感覚が高い子どもを、放射線被ばくからできるだけ守るためにはどうしたらよいか。日常生活での被ばくを減らすための具体的な方法を紹介します。書き込み式の「被ばく量がわかる計算式」付き。
武田邦彦/著
主婦と生活社



知られざる皇室

多くの宮中祭祀、天皇のお田植え、皇后の養蚕、神宮の来歴、皇居と御用地、宮内庁の各部署の業務など、知られざる皇室の実像を紹介。皇室ジャーナリストとしての著者の丹念な取材実績から生まれた貴重なドキュメント。
久能靖/著
河出書房出版



ばすくんのくりすます

サントさんからプレゼントをもらえると聞いて、クリスマスツリーを作った森の動物たち。けれどその晩に雪が降ってツリーは真っ白。氷で作ったツリーを目立たせようとしたが…。
みゆきりか/さく
小学館



旬を楽しむ日本の食文化

「季節」をおいしく食べよう

旬を知らない子どもたちが、最近増えてきているそうです。実際お店に並んでいる食材は、季節に関係なく1年をとおして見られるものばかりで、旬を感じる機会は少なくなっています。

旬とは、その食材の収穫が最も多く、一番おいしく感じる時期のことです。日本には四季があり、昔から季節ごとに様々な食材を楽しんできました。

旬は3つの時期に分かれ、旬に先駆けて食べる「はしり」、最もおいしいとされる「さかり」、旬の終わりを惜しみがら味わう「なごり」など、旬を楽しむことは、日本の食文化の1つなのです。特に、昔は旬の時期以外では食材を手に入れることが難しく、「はしり」「なごり」は贅沢とされていたそうです。しかし、現在では栽培技術の発達や流通手段の進歩によって、ほとんどの食材が1年をとおして出回り、簡単に手に入るようになりました。

旬の食材とそれ以外の食材——見た目はそれほど変わらないように見えます。しかし、旬の食材はおいしさだけでなく、栄養面でも優れているのです。例えば、ほうれん草100gに含まれるビタミンCについてみると、夏にとれたものでは20%弱の対し、旬

である冬にとれたものでは3倍の60%にもなります。また、秋に旬を迎えるイワシやサバなどの魚でも、脂がのっておいしくなるだけでなく、脳の活性化や生活習慣病の予防に役立つといわれるDHAやEPAが2〜3倍になるといわれています。また、旬の野菜は露地栽培で大量に収穫されるため、余計なエネルギーも使いません。そして、地元の食材を利用すれば流通コストもかきませんから、環境にもお財布にもやさしく、からだにも良い、いいことづくしの食べ物だと言えます。

旬の食材を味わって、自ら体調管理を

- 春** 春にみられる苦味が多い野菜・山菜は、からだの代謝を助け、抗酸化作用の効果もあります。
- 夏** 水分の多い野菜や果物は汗で失われた水分を補い、またカリウムが余分な塩分などを排出します。
- 秋** 秋が旬の魚や芋類・果物など栄養豊富な食材が疲労したからだを回復させ、寒い冬に備えます。
- 冬** 旬の根菜類がからだを温めます。また脂ののった魚介類が滋養をつけてくれます。

健康づくり課健康増進・地域医療係 ☎内線2183

放射線物質は、市内で検出されず

平成23年3月11日に発生した、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受けて、国・県をはじめ全国各地で放射性物質のモニタリング調査が行われています。

日向市でも、次のとおり独自に調査した結果、すべての調査地点39検体において、放射性ヨウ素(ヨウ素131)、放射性セシウム(セシウム134、セシウム137)などの放射性物質は検出されませんでした。

放射性物質のモニタリング調査

- 調査実施日 10月14日、17日、18日
- 調査方法 「緊急時における食品の放射能測定マニュアル(厚生労働省)」に準拠し、ゲルマニウム半導体検出器によるγ線測定を専門機関に依頼。
- 調査対象および採取場所
 - ①土壌 市内19の小中学校のグラウンドとお倉ヶ浜総合公園のグラウンド
 - ②農作物 市内5つのエリアから、米、稲わら、葉物野菜などの3種類を採取。
 - 米と稲わら 庄手、富高、田の原、羽坂、越表
 - 葉物野菜など 曾根、奥野、美々津、羽坂、坪谷
 - ③魚 定置網により採取。
 - ④上水道 権現原浄水場において、原水と上水を採取。

放射性ヨウ素、放射性セシウムとは？

核燃料として使用されるウランやプルトニウムが核分裂する際に放出される放射性物質です。東日本大震災で被災した東京電力福島第一原子力発電所の周辺では基準値を上回る放射性ヨウ素131や、放射性セシウム134、137が検出されています。放射性物質が出す放射線は人体の細胞内の遺伝子物質を損傷するため、放射線の被曝量が問題となりますが、一般的に100ミリシーベルト以下では健康被害の可能性は低いとされています。放射性物質の元素量は時間の経過とともに減り、それともなって放射能も減少。元素が半分になるまでの時間を「半減期」と呼び、放射性ヨウ素131の半減期は約8日ですが、セシウム137の場合は約30年と長い年月がかかります。

- ⑤下水道 浄化センターにおいて汚泥を採取。
 - 調査結果 すべての調査地点(39検体)において不検出
- また、県は本年6月、市内にある伊勢ヶ浜、お倉ヶ浜、金ヶ浜海水浴場を含む、県下14か所の海水浴場の海水について、放射性物質を測定しました。その結果、調査したすべての海水浴場において、放射性物質は検出されませんでした。
- ☎環境整備課環境公害係
53・2256

郷土の文化財⑥ 仲深地区「西林山」を訪ねる

道の駅「とうごう」から、国道446号線を美郷町南郷区方面に向ってしばらく進むと、「仲深橋」のバス停があります。これを目印に左折すると、正面に切り立った崖の岩肌の「西林山」が姿を現します。

西林山は標高786メートルで、山頂まで片道3時間ほどのキツイ登り坂が控えています。登山愛好家の間では、自然林の中を通ったりシダの藪を通ったり、周辺に大小さまざまな滝があるなど変化に富んだ登山コース、トレッキングルートとして人気があり、また、登山道の一部は元禄4(1691)年に起きた山陰一揆の逃散ルートであったことでも知られています。

ところで、西林山の名については、美々津町田ノ原の石神山の真西に位置することから付けられたとも言われていますが、最近の調査研究によって、修験道に関わりのある地名であることがわかってきました。

例えば、和歌山県にある那智大社に残されている江戸時代の記録に、同社の支配下にあった日向国の修験道場の一つに「つぼや(坪谷)」があり、「西林坊」という宝物小屋のあったことが記されているようです。つまり西林山は修験道に由来する地名の可能性が高い

大雨のあとは、切り立つ崖に滝が現れる



写真 若杉廣美さん(東郷町仲深)撮影
文 文化スポーツ課文化財・文化振興係 ☎内線6231

のです。その視点から山容を見渡すと、北側の岩場を斜めに通る細い崖道痕跡が見えます。修験者だけに登り降りを経験された道でしょうか。詳しいことは今後の調査で明らかになるでしょう。ただ、石神山との関係も無視することはできません。四国の霊峰として知られる石神山の真西にも西林山という山があるのです。四国といえ八十八か所巡りの霊場が有名ですが、修験道も盛んで、石神山も険しい地形から道場として使われてきました。これからの西林山に関する調査については大いに注目していきましょう。

w a l k

「身付き軟骨炭火焼」が大人気、今年の年越しは「牧水そば」で

お 舟出の湯レストラン「潮音」は、おつまみメニューも充実しています。そのなかでも「身付き軟骨炭火焼」は、料理長おすすめの一品です。コリコリした食感に、ジューシーなお肉。大人気の一品で、ビールのつまみにも最高です。ぜひご賞味ください。



身付き軟骨炭火焼 650円

●レストラン潮音 ☎56・3800

道の駅とうごう「師走のイベント情報」

- ふるさと市場** 新鮮野菜・新米・椎茸・果実などが続々入荷中。
 - 日時 毎週水曜日と、土・日・祝日。午前8時から午後5時まで。
 - ※年末は12月30日(金)まで。
 - 物産センター「詩季彩」東郷町ふるさと公社 ☎68・3072
 - 営業時間 午前8時30分から午後6時まで。
 - ※年末は12月30日(金)まで営業。初商は1月2日(月)から。

年越しにいかがですか? 「牧水そば」予約受付中
牧水そば(1人前)=つゆ付き 300円・つゆなし200円
予約は12月25日(日)まで。ふるさと味工房 ☎68・3070

f o o d

日向サンパーク「12月のイベント情報」

- お舟出の湯営業時間 午前10時から午後10時まで。
- 12月の休館日 5日(月) 19日(月) 31日(日)
- 日向サンパーク温泉お舟出の湯 ☎56・3800
- 定期寄席 12月10日(出)、午後1時から。
- 12月限定「お得な前売り券」販売中 11枚綴り4000円
- 初日の出営業 海から昇る初日は壮大です。平成24年元日も、早朝6時から営業します。また、お正月は、福袋販売も予定しています。
- 電気風呂を新設 毎日利用できるようになりました。
- 「お舟出とくたくカレンダー」
- 市ホームページからも簡単アクセス!
URL <http://ww2.wainet.ne.jp/~sunpark/>
☎携帯電話からはQRコードで!



年越し用「牧水そば」予約受付中 詳細は☎

●ふるさと味工房 ☎68・3070

なぎ粉を一切使用していない、地元産10割そば。田舎風味が自慢です。年越しそばに、「牧水そば」はいかがですか? 地方発送もできます。年末は混み合いますので、早めのご予約をお願いします。

募集
Recruit

初心者を対象に開く
なぎなた教室 ～参加無料～

- 日時 1月11日(水)から3月14日(水)の毎週水曜(全10回)、午後7時30分から8時30分まで、市武道館2階で。
- 定員 小学生以上の10人
- 申込方法 12月22日(水)までに、電話で申し込んでください。
- ☎市立図書館 54・1919 ☎090・4998・0207(黒木)

市立図書館の嘱託員として
働きませんか?

- 市は、次のとおり市立図書館の嘱託員を募集します。
- 職務内容 ・図書個人貸出および団体貸出に伴うカウンター業務。
 - ・蔵書管理および貸出利用などに伴う分類、整理とパソコン処理。
 - ・図書館行事の企画、運営。
 - ・そのほか図書館に関する業務など。
 - 採用期間 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで(再任可)。
 - 勤務時間 週29時間以内
 - ①早出＝午前8時30分から午後4時45分まで。
 - ②遅出＝午前10時30分から午後6時45分まで。
 - 報酬 月額＝14万6千円
 - 福利厚生 健康保険、厚生年金、雇用保険に加入。
 - 募集人員 若干名
 - 応募資格 次の要件をすべて満たしていること。
 - ①司書(司書補)、学芸員、司書教諭のいずれかの有資格者(取得見込可)。

- ②普通自動車の免許を有している人。
- 募集期間 12月6日(火)から翌1月6日(金)まで。※郵送の場合は、当日消印有効。
- 提出書類 自筆履歴書(市販A4版のものを使用)、写真貼付。
- 選考方法 書類審査、小論文、面接。
- ☎市立図書館 ☎54・1919

日向ひょっとこマラソン
3月11日(日) ～出場者募集～

- 日向ひょっとこマラソン大会は、今回で18回目。毎年、県内外から1,700人以上のランナーが出走し、起伏のある厳しいコースを走破することの達成感や、美しい自然を感じながら走ることの爽快感を楽しんでいます。
- 今年は市制施行60周年を記念して、「市民ランナーの星」と慕われるマラソンランナーであり、タレントとしても活躍中の谷川真理さんをゲストランナーとしてお迎えします。次のとおり出場者を募集しています。
- 日時 3月11日(日)雨天決行
 - コース お倉ヶ浜総合公園をスタート・ゴール
 - 種目 ハーフマラソン(高校・一般男女)、10㎞(高校・一般男女)、5㎞(中・高校・一般男女)、2㎞(小学生男女、小学生親子)、ひょっとこの部(5㎞以内で自由に折り返し。ウォーキングなどでも可)
 - 参加料 小学生＝1,000円、中学生＝1,500円、高校生＝2,000円、一般＝3,000円、親子＝3,500円、ひょっとこの部＝1,000円(記録なし)・2,000円(記録あり)。
 - 表彰 各種目3位まで賞状・メダル、各部門(各種目の年代別)3位までに賞状(ひょっとこの部を除く)。
 - 申込方法 次の2つのいずれかで。
 - ①インターネット(携帯)サイト※QR

コード対応の携帯電話を持っている人は、それぞれ右のコードを読み取ると簡単にアクセスすることができます。

・RUNTES
☎http://runnet.jp



・スポーツエントリー
☎http://www.sportsentry.ne.jp



・JTB スポーツステーション
☎http://jtbssports.jp



②大会リーフレットの払込取扱票に必要事項を記入し、1月13日(金)までに郵便局で申し込みを。

●大会リーフレット配布場所 文化スポーツ課、大王谷陸上競技場、サンドーム日向、市体育センター、東郷公民館など。

●募集締切 1月13日(金) ※インターネット申し込みは1月22日(日)まで。

☎同実行委員会事務局(文化スポーツ課内)☎53・4791

☎http://sites.google.com/site/hyottokomarathon

日向ひょっとこマラソン
ボランティアスタッフ募集

- お倉ヶ浜総合公園をスタート・ゴールに3月11日(日)に開かれる、第18回日向ひょっとこマラソン。市内外から訪れるたくさんのランナーを支えるボランティアスタッフとして、あなたも「日向ひょっとこマラソン」に参加してみませんか?
- 業務内容 受付、案内、スタートゴール整理誘導、走路観察など。
 - 募集定員 中学生以上で200人程度。18歳未満は保護者の承諾が必要。
 - 申込締切 1月13日(金)まで。
 - 申込方法 電話・ファックス、またはメールで。
 - ☎同実行委員会事務局(文化スポー

日向市役所 ☎52・2111(代) 東郷町地域自治センター ☎69・2111(代)
ホームページで最新情報をチェック! ☎http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/

ツ課内) ☎53・4791 ☎56・0018
☎marathon@hyugacity.jp

第11回宮崎県障がい者スポーツ大会参加者募集

第11回宮崎県障がい者スポーツ大会が平成24年5月13日(日)、県総合運動公園をメイン会場に開かれます。市は次のとおり参加者を募集しています。

●参加資格 平成24年4月1日現在、13歳以上の人で障害者手帳を持っている人。あるいは、それに準ずる人。

●競技部門 ①身体障がい者の部＝陸上競技、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク ②知的障がい者の部＝陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリング ③精神障がい者の部＝バレーボール、ミニバレーボール、グラウンドゴルフ

●募集締切 1月20日(金)まで。

☎福祉課障がい福祉係(☎内線2171)

県立産業技術専門学校高鍋校
平成24年度訓練生募集

県立産業技術専門学校高鍋校は、平成24年度訓練生を募集しています。

●募集科および募集人員 ①建築科＝20人、塗装科＝20人 ②販売実務科(知的障がい者が対象)＝10人

●募集対象者 ①建築科、塗装科＝中学校を卒業した人(平成24年3月卒業見込みの人を含む)またはこれと同等以上の学力を有すると認められるおおむね35歳未満の人(離転職者でも可)。

②販売実務科＝中学校を卒業した人(平成24年3月卒業見込みの人を含む)で療育手帳を所持している人。公共職業安定所に求職の申し込みを行っている、同所の受講指示が受けられる人。

●訓練期間 1年間

●願書受付期間 ①建築科・塗装科＝1月4日(水)から26日(水)まで。②販売

実務科＝12月1日(木)から16日(金)まで。

☎は問い合わせ先、☎は申請、または申し込み先の略です。

実務科＝12月1日(木)から16日(金)まで。

●試験日 ①建築科・塗装科＝2月13日(月) ②販売実務科＝1月16日(月)

●選考方法 筆記試験(国語・数学)、職業適性検査および面接。※入校料、授業料は不要ですが、教科書や実習服、また傷害保険料などは実費です。

☎県立産業技術専門学校高鍋校 ☎0983・23・0523

催し
Event

人権・同和問題市民講演会
12月15日(日) 午後2時から

12月4日から10日は人権週間です。日向市制施行60周年を記念して下記のとおり、第29回日向市人権・同和問題市民講演会を開きます。

講師は猿まわし師の第一人者として「反省」のポーズをブレイクさせ、栄光とも言える道を歩んできた村崎太郎さん。これまで言えなかった過去、そして人権の大切さを語りまわす。軽快なトークとギターのライブも合わせてお届けします。



●日時 12月15日(日)、午後2時から4時まで、市中央公民館ホールで。

●講師 村崎太郎さん(猿まわし師)

●演題 「橋はかかる～被差別部落に生まれ育って～」

☎市民協働課人権・同和行政推進室 (☎内線6253)

お知らせ
Info

宮崎ハイウェイ走って!もらって!キャンペーン終了迫る

賞品総額90万円!宮崎ハイウェイ走って!もらって!キャンペーン実施中です。どしどし応募してください。

●キャンペーン期間 12月31日(日)まで。

●応募締切 平成24年2月29日(水)まで。当日消印有効。

●キャンペーン内容 県高速道対策局ホームページ、または県内市町村役場、道の駅などに設置しているチラシ・ポスターで確認ください。

☎県高速道対策局 ☎0985・26・7200

「復興支援商品券」
有効期限は12月31日まで

日向商工会議所が口蹄疫復興対策として販売し、完売した20%プレミアム付の「復興支援商品券」。商品券の有効期限は、平成23年12月31日(日)までです。期限を過ぎると無効となり使用できなくなりますので、早めに取扱利用店で利用してください。

☎日向商工会議所 ☎52・5131

第31回日向市駅伝競走大会
12月18日(日)10時スタート

●コース 市役所スタート・ゴール

①小学生(男女)、女子＝塩見内平往復10.2km ②男子(中学・高校・一般)＝塩見中村往復15.7km 沿道から、たくさんの方の応援をお願いします。

☎市陸上競技協会 ☎52・6529(黒木)

お知らせ
Info

「農業委員会委員選挙人名簿」
申請書は1月10日までに

選挙管理委員会は、毎年1月1日現在で、有権者の申請に基づき、「農業委員会委員選挙人名簿」を作成しています。次の要件のすべてに該当する人は、1月10日(火)までに農業委員会に申請書を提出してください。

●申請要件 ①市内に住所のある人。②20歳以上の人(平成4年4月1日までに生まれた人)。③耕作面積が10a以上ある人もしくはその人と同居の親族または配偶者で、年間の耕作従事日数が60日以上ある人。

※申請書は12月中旬に送付します。12月26日(月)までに届かなかった人は、農業委員会事務局(☎内線2363)まで問い合わせてください。

●選挙管理委員会事務局 (☎内線2232)

市・県民税特別還付金の支給申請受付を開始しました

遺族が年金として受給する生命保険金のうち、相続税の課税対象となった部分については所得税の対象とならないとする最高裁判所の判決(平成22年7月6日)を受けて、過去5年以内の各年分について、申告に基づき所得税、市・県民税の還付を実施しています。

このたび、過去5年を超える年分(平成12～17年分)についても、納めすぎとなっている所得税に相当する額を特別還付金として支給する制度が創設され、市でも平成13年度(平成12年分)

以後の市・県民税で納めすぎとなっている税額に相当する金額を特別還付金として支給することになりました。

●還付の対象になる人 平成13～18年度分において市・県民税を納付している人で、相続などにより取得した生命保険契約などに基づく年金を課税されている人。

●申請先 税務課市民税係(⑨番窓口)
●受付期間 平成24年10月31日まで。
●申請に必要なもの
▶税務署で所得税の特別還付金の請求を行った人 ①所得税の特別還付金の支給決定通知書の写し ②所得税の特別還付金の額の計算明細書の写し ③印かん(認め) ④本人名義の通帳口座番号が分かるもの
▶所得税の特別還付金の請求を行っていない人 ①保険年金の受給期間や受給総額が分かる書類の写し(保険会社からの通知書類など) ②印かん(認め) ③本人名義の通帳口座番号が分かるもの

※所得税の特別還付金の申請手続きは税務署で受け付けます。受付期間は平成24年6月29日までです。詳しくは延岡税務署(☎0982・32・3301)、または国税庁ホームページをご覧ください。☎ http://www.nta.go.jp/

●税務課市民税係 (☎内線2126)

シラスウナギ(うなぎ稚魚)の採捕には知事の許可が必要

平成23年11月22日から平成24年3月5日までの間、県内の各河川では増養殖用種苗の供給を目的としたシラスウナギ(うなぎの稚魚)の特別採捕が行われています。

シラスウナギを採捕できるのは、漁協の組合員等で知事の許可を受けた人であり、許可を受けていない人が採捕

すると犯罪行為として処罰されます。

また、「うなぎ稚魚の取扱いに関する条例」に基づく県の登録を受けずに、全長25cm以下のうなぎ稚魚の所持・売買などを行った場合も同じように処罰されますので注意してください。

●県水産政策課 ☎0985・26・7146

償却資産(固定資産税)の申告は1月31日までに

会社や個人で工場や商店などを経営する人が、事業のために用いている構築物、機械および器具・備品などの有形固定資産を償却資産といい、土地や家屋と同じように固定資産税が課税されます。

償却資産を持つ人は、地方税法第383条の規定により、毎年1月1日現在の所有状況を1月31日までに申告することになっています。

なお、申告書は該当者に12月中旬に発送予定です。また、平成24年度から、未申告でも過去の申告資産に応じて課税されることになりました。詳細については問い合わせください。

●資産種類ごとの主な償却資産

構築物	構築物	路面舗装(駐車場等)、側溝、緑化施設、その他土地に定着した土木設備、看板など
	建物附属設備	借店舗・借事務所等に施した造作費、受変電設備、屋外給排水設備など
機械及び装置		土木建設機械、印刷機器、製造設備、クリーニング設備など
船舶		漁船、しゅんせつ船、遊漁船など
航空機		飛行機、ヘリコプターなど
車両及び運搬具		フォークリフト等の大型特殊自動車、農業用トラクターなど
工具器具及び備品		冷蔵庫、陳列ケース、パソコン、音響機器、キャビネット、クーラーなど

●税務課資産税係(☎内線2114)

くらしの相談日 まずは気軽に相談してください。

- 人権相談**
●12月2日(金)、午前10時から午後3時まで、美々津公民館、細島公民館、社会福祉協議会東郷支所で。
- 12月4日(日)、午前10時から午後3時まで、市中央公民館で。
- 行政相談**
●12月2日(金)、午前10時から午後3時まで、中央公民館で。
- 12月21日(水)、午前10時から午後3時まで、社会福祉協議会東郷支所で。 ※毎月第2、第3金曜日、午前9時30分から正午の間、市文化交流センター内男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんびあ」でも受付中。 ☎55・1660
- 法律相談(☎要予約)**
●12月21日(水)、午前9時30分から午後3時30分まで、市中央公民館で。 ※弁護士会、司法書士会日向支部による無料相談もあります。 いずれも事前に予約が必要です。日時などの問い合わせは、市民課市民相談係(☎内線2140)へ。
- 障がい者・難病者相談**
●毎週金曜日、午前10時から正午まで、J.R日向市駅西口そば市障がい者センター「あいとびあ」で。 ☎52・5434
- 巡回年金相談**
●12月22日(木)、午前10時から午後3時まで、市中央公民館で。
- 介護保険の説明会**
●12月19日(月)、午前10時から11時まで、健康管理センターで。
- 女性による女性のための相談**
電話または面接相談。月、火、木、金曜日の午後1時から4時まで、「さんびあ」で。 ☎55・1660
- 青少年相談**
電話または面接相談。毎週火曜日から金曜日の午前9時から午後4時まで。対象は幼児、小・中・高校生、青年など。青少年育成センター内青少年相談室まで。 ☎54・8181
- こころの健康相談(☎要予約)**
ひとりですみず、まずは誰かに相談してみませんか?
●12月20日(火)、午後1時から午後3時30分まで、日向保健所で。予約は☎52・5101へ。
- 中小企業の無料経営相談会**
●12月12日(月)、午前10時から午後3時まで、日向地区中小企業技能センターで。相談は無料。商工港湾課商工振興係(☎内線2635)へ事前予約を。

119 Call

平成24年日向市消防出初式

●日時 1月5日(木)、午前8時30分
●場所 お倉ヶ浜総合公園

年の初めに団員らの士気高揚を図る日向市消防出初式。少年消防クラブによる放水操法披露や市内保育園幼年消防クラブによるマーチングのアトラクションもあります。たくさんの市民の皆さんの観覧をお待ちしています。

●日向市消防本部 ☎52・2840

10月中の出動件数

救急	火災	救助
213	1	4

from Editor's room 編集後記

▶今回、改めて日向市の60年を振り返りました。写真から伝わる当時のまちの姿。私たちの長い歴史の中で時間はそのスピードをあげ、大きな変化をもたらしているように思えます。これからはもっとそのスピードを上げるのでしょうか? ④

▶インターネットに公開した過去の広報紙。ねずみ一匹でバイクが当る。S35年11月号の一見出し。退治したねずみを市役所に持参するとバイク、時計などが当る宝くじ進呈…とある。時代に思いを馳せてる場合じゃない。締切は明日だ! ⑤

地域安全掲示板

日向市暴力団排除条例が来月1日施行
この条例は、市民の安全で平穏な生活を脅かす暴力団の排除を目的に、平成24年1月1日から施行されます。市民や事業者にも「暴力団を恐れない、金を出さない、利用しない」の3ないを基本理念として、排除に関する施策に協力するよう規定されています。暴力団に関する相談は、日向警察署へ。

●市日向警察署 ☎53・0110

10月中の交通事故件数

人身	物損	()内は 対前年比
50(+13)	85(-35)	

納税は納期内に!

12月の納税

固定資産税	4期
国民健康保険税	7期

納付期限	12月26日(月)
口座振替	12月26日(月)

税目	12月	1月	2月
市県民税		4期	
固定資産税	4期		
国民健康保険税	7期	8期	
介護保険料1号	7期	8期	

くらしのはてな? 12
やましく答えます

Q 今月60歳になりますが、年金を受け取るために必要な25年の保険料納付済期間が足りません。年金はもらえないのでしょうか?

A 老齢年金を受け取るためには、納付要件(60歳までに国民年金の納付済期間や免除期間、それに厚生年金や共済組合などの加入期間の合計が25年以上ある)を満たしていることが必要です。

しかし、60歳までに納付要件を満たしていない場合には、70歳まで任意加入することができ、納付期間を満たした時点で脱退することもできます。また、「納付要件は満たしているけれど、年金額が少ないのもっと年金額を増やしたい」という場合は、65歳まで任意加入することができます。任意加入は、年金額をちょっと増やせる「付加年金」の加入もできます。ただし、任意加入したときの保険料の納付方法は、口座振替が原則になります。

●市民課国民年金係(☎内線2132)



人のうごき 平成23年11月1日現在

人口	63,008人
男	29,872人
女	33,136人
世帯数	25,041世帯

※数値は、平成22年国勢調査をもとに算出した推計人口(現住人口)。外国人登録者を含む。

10月中異動	転入	転出	出生	死亡
単位:人	130	157	45	48

平成22年国勢調査による 日向市の人口・世帯数

平成22年10月1日に実施された国勢調査の確定値が10月26日に公表されました。

日本の人口は、平成22年10月1日現在で1億2805万7352人。平成17年から22年まで横ばいの状況です。

日向市の人口は、平成22年10月1日現在で6万3223人。前回17年調査時と比較すると、332人減少しています。毎月、右の欄でお知らせしている「人のうごき(推計人口||現住人口)」は、直近の国勢調査の数値に基づいて算出していますが、今回、平成22年国勢調査の結果をもとに平成23年11月1日現在の推計人口を補正しました。

国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人と世帯を対象とする国の最も重要な統計調査です。この調査結果は今後、国や地方公共団体の行政施策のほか、民間企業などでもさまざまな場面で利用されています。

平成22年国勢調査へのご協力、ありがとうございました。

☎企画情報課統計係(☎内線2464)



表紙のよこ顔

駅前交流広場で11月19日あった100万人のキャンドルナイト「ひゅうかの灯り2011」。点火器具を手に、たくさんの市民が集いました。廃油で作ったおよそ5千個のエコキャンドルに、被災地の復興と鎮魂、そして新しい一歩を踏み出すための祈りを込めて、一つ一つ点灯。ひむかの杜は、あたたかで幻想的な雰囲気に包まれていました。

日向市制施行60周年記念 第1回青の国若山牧水短歌大会

市は日向市制施行60周年を記念して、第1回青の国若山牧水短歌大会を次のとおり開催します。

どなたでも自由に観覧することができますので、気軽に参加してください。

- 期日 12月24日(出)
- 会場 日向市中央公民館

【第一部】第1回牧水・短歌甲子園

●時間 午前9時30分から正午まで。
初めて開催する「牧水・短歌甲子園」は、高校生の自己表現力の向上が大きな目標の一つです。

あらかじめ決められた題により自作した短歌とその思いを発表し、また相手チームの短歌に対して意見を述べるなど、それぞれの歌に込めた熱い思いを伝え合います。

- 出場校 妻高等学校(西都市)、延岡学園高等学校尚学館高等部(延岡市)、日向高等学校(日向市)、宮崎大宮高等学校(宮崎市)、宮崎商業高等学校(宮崎市)

【第二部】第1回青の国若山牧水短歌大会「表彰式など」

●時間 午後1時から3時まで。

短歌の応募は、「青」の題詠に367首、またスイスや台湾の海外からの2人、35都府県、県内の小中学校生から、合わせて4222首ありました。表彰式のと、伊藤一彦若山牧水記念文学館長の講評があります。入賞作品は、12月上旬に発表する予定です。

☎文化スポーツ課若山牧水係
(☎内線6232)

朝の山日を負ひたれば溪の音
おと
たに
おと
宵えこもりつつ霧たちわたる
牧水

〔今月の歌の意味〕

山が朝の日を負って隠しているのが、溪は水の清い音のこもり響く中に霧が一面に立っている。

〔歌の鑑賞〕

大正6年11月半ばに埼玉県西部の秩父に遊んだ。その時の連作「秩父の秋」の冒頭歌である。

上二句「朝の山日を負ひたれば」はスケールの大きな表現である。三句以下は朝日のまだ射さぬ溪の様子を聴覚と視覚の両方で捉えている。三句は後に「溪音の」に改めた。その方が断然いいと思う。

伊藤一彦(若山牧水記念文学館長)著
牧水かるた百首鑑賞「命の碎片」より

